

大津 地域包括 支援センター便り

2021年4月号

vol.4



今月の表紙「大津地区に春が来た・・・」

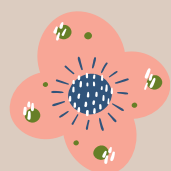
今年はコロナ禍の中、新しい生活様式や緊急事態宣言など様々なことが起こった年でした。

でも、どのような時にも春が来る・・・

新たな旅立ちを告げる花はどの様な世の中になっても変わらず花を開きます。

大津地区のサクラの名所、走水水源地のサクラも開花するのを今か今かと待ちわびています。

大津地域包括支援センターも本年度から新体制での活動になります。これからも当センターをよろしくお願いします。



新・旧センター長からのご挨拶



新センター長鈴木からのご挨拶

大津地域包括支援センター センター長：鈴木 礼



この度、当センターのセンター長を拝命しました、鈴木礼と申します。僭越ながら簡単に自己紹介をさせていただきます。

生まれも育ちも職場も横須賀で、一度も横須賀を出たことがない生粋のスカッ子です。家族は子ども5人と妻の7人家族で、貧乏子沢山を実践中。将来の介護予防として（笑）毎週テニスをたしなんでおります。前職は普通のサラリーマンで、不景気のあおりを受け会社が傾きかけたとき、「これからは高齢者福祉の時代だ！」と一念発起し（逃げ出して）転職しシャロームへ来たのが早18年前。入浴サービス、デイサービスを経て当センターに配属されました。

十年一昔と申しますが、高齢者福祉を取り巻く環境も、介護保険制度が施行された当時と比べますと、激しく様変わりしているように思えてなりません。人のためになっているという理由だけで介護や福祉がもてはやされた時代から今や、介護や福祉の質が問われ、地域社会における我々の役割や責任も大きくなっています。

しかしながら、昔も今も変わらないものもあります。それは「コミュニケーション」。どんなにネットワークが整備され、どんなにカメラやスマホやパソコンが普及しても、最良のコミュニケーション手法は「会うこと」に他なりません。お互いの息遣いや表情の変化を感じ、言葉に言い表せない感情を読み取る。そしてこういった非言語コミュニケーションは、安心感をより一層増長してくれます。

今まで当センターが築いてきた伝統はこの、地域の皆様に対しての「安心感」に他ならないと思います。私たちはこの伝統を守り、引き継ぎ、育てていく所存でございます。どうか新体制の門出に際しまして、今後共、皆様のお力添えいただけますよう、お願い申し上げます。



2



2

近藤前センター長よりご挨拶

大津地域包括支援センター 前センター長：近藤 勝利

大津地区の皆様、関係機関の皆様大変お世話になりました。平成18年8月に大津地域包括支援センターがシャロームに開所され、社会福祉士の私と看護師、主任介護支援専門員の3名だけで業務を行っていました。当時は「大津地域包括支援センター」の名前を覚えていただくために、各町内会や医療機関、福祉の関係機関等へ案内チラシを持ってご挨拶に回った記憶があります。当時どのような相談があったのか、古い記録を探して見ましたら、横須賀市の全13地域包括支援センター(現12地域包括支援センター)の社会福祉士で作成した「消費者被害に遭わない方法を教えます。知っていますか?成年後見制度」のパワーポイント資料が出てきました。教室活動の中でこの資料を使って啓発活動を行ったことを思い出しました。

今でも消費者被害は大きな問題になっており、加えて8050問題(「80代」の親が「50代」の子どもの生活を支える)など家族全体を含めた相談対応が多くなっています。当センターの職員は12名になり京急大津駅前に相談窓口「シャロームひろば」を開設するなど、徐々に相談体制を整えてきましたが、医療・福祉・地域の関係者との連携は、ますます必要になってきています。私は4月より同じ法人内の障害者福祉に従事する事になりましたが、今後は障害者支援を通して、地域の皆様と連携をとっていきたいと考えています。当センターも含めて今後共よろしくお願いいたします。



発行：大津地域包括支援センター
住所：横須賀市走水1-35
電話番号：046-842-1082

京急大津駅前相談窓口
シャロームひろば
電話番号：046-802-1082

お気軽にご相談ください！！

OTHSC